

九州新幹線西九州ルート 全線フル規格の早期実現を 目指しています！ 2022年度暫定開業！！

西九州ルートは、2022年度に長崎～武雄温泉間の暫定開業が予定されており、県では、関西・中国圏からの観光客の増加、産業の活性化、県内各地におけるにぎわいの創出を目的に、暫定開業後の全線フル規格の実現を目指しています。



西九州ルートの整備状況

フリーゲージトレインの導入が予定されていますが、山陽新幹線への直通運行が困難となり、導入が断念されました。未整備区間(武雄温泉～新鳥栖)の整備方式は未定で、今後「フル規格」、「ミニ新幹線」のどちらかに決まる予定です。

【フル規格】

新幹線規格のレール幅(1,435mm)および車両サイズで整備する。西九州ルートでの最高速度は260km/h。

【ミニ新幹線】

新幹線規格のレール幅、在来線規格の車両サイズで整備する。在来線を走行する区間があり、その区間はレール幅を在来線規格(1,067mm)から新幹線規格にするための工事が必要。フル規格よりも安く建設できるが、工事期間中は運行本数の減少や所要時間の増加を伴う期間(5～9年)が生じる。西九州ルートでの最高速度は新幹線区間260km/h、在来線区間130km/h。

【フリーゲージトレイン】

新幹線規格と在来線規格のそれぞれのレール幅に合わせて車輪の間隔を変えることができる電車。



フル規格の整備効果

時間短縮効果

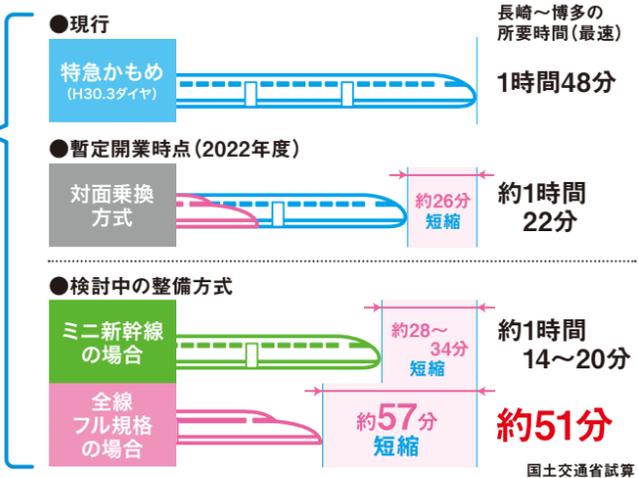
長崎～博多間が最速約51分で結ばれます。また、山陽新幹線への直通運行により、長崎と関西・中国方面が乗換えなしで結ばれ、長崎～新大阪間は最速約3時間15分となります。

安全・快適な移動

ミニ新幹線と異なり、フル規格の新幹線は高架の専用軌道を走行するため、事故や自然災害による遅延や運休が少ないのが特長です。

交流人口の拡大による経済効果

山陽新幹線への直通運行により、観光客やビジネス客の増加が見込まれ、宿泊や食事、買い物をはじめとした観光消費の増加など、西九州地域全体の活性化が期待されます。



夢をかたちに!

整備効果が最も高い全線フル規格での整備が早期に実現できるよう全力を尽くしてまいります。

長崎県知事
中村法道

問合せ 県の新幹線・総合交通対策課
☎095-895-2066

九州新幹線西九州ルート 検索



石本 誠 さん(杵崎市)

つたエール “YELL” けん

県内で頑張っている人に

エール(応援)を送ります

平成19年に福岡県から杵崎市に移住し、地域医療に携わってきた理学療法士の石本誠さん。離島やへき地における医療従事者の不足が全国的な問題となっている中、石本さんは健康を維持・増進する予防医療に力を注いでいます。また、移住の経験を活かし、1ターン者のコミュニティづくりや定住へのフォローといった取組みも行っています。多角的な視点で島の未来を見つめる石本さんに、お話を伺いました。

Q.1 杵崎市に移住したきっかけを教えてください。

以前は福岡県内で理学療法士として働いていましたが、高齢化が進む中、これからの地域医療のあり方を高齢化率の高い場所で学びたいと考え、福岡県からも近い杵崎市に移住を決めました。杵崎市の高齢化率(人口に占める65歳以上の割合)は全国平均27.7%に対し36.9%*と高く、全国平均よりも早く高齢化が進んでいると言われています。つまり、今の杵崎市は将来の日本の縮図。ここで自分にできることがあるはずだと考えました。

*長崎県異動人口調査(平成29年10月1日現在)

Q.2 なぜ、予防医療を大切にされているのですか？

全国どこでもそうですが、「若者を増やし、地域の高齢化率を下げる」とことや「地域の医療・介護従事者を増やす」ことには限界があると思います。そこで、高齢になっても介護を必要とせず、健康に暮らすことができる人を増やすことも島の明るい未来につながるのでは、と考えるようになりました。現在は「世界一背中が美しい島」をスローガンに掲げ、骨粗しょう症予防や姿勢を良くするための啓発活動などを行っています。

Q.3 1ターン者のコミュニティづくりについて教えてください。

移住した当初、私自身も苦労した経験があります。地域に溶け込むお手伝いができればと、平成24年頃から年に数回、1ターン者が集う「あいたん会」を主宰しています。なぜ杵崎市へ来たのか、どんな仕事や暮らしをしたいのか、といった思いを共有することで、新たなつながりや取組みも生まれています。大都市と違い、行動をすれば結果に表れやすいのが、人口の少ない地域の良さであり面白さ。医療分野でもそれ以外でも、島の未来、ひいては日本の未来に通じる活動を続けていきたいです。

講演などを通じて骨粗しょう症の予防策や健康を保つ正しい姿勢の取り方などを島民に伝えてい



予防医療やコミュニティづくりを通して島を元気にする活動を応援するけん!

